



平成30年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年4月26日

上場会社名 鳥居薬品株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4551 URL <http://www.torii.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高木 正一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 山本 賢 (TEL) 03(3231)6811  
 四半期報告書提出予定日 平成30年5月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第1四半期の業績(平成30年1月1日～平成30年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第1四半期	13,930	2.4	769	44.2	790	42.2	569	46.4
29年12月期第1四半期	13,608	△1.0	533	△54.9	555	△54.6	388	△51.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第1四半期	20 29	20 29
29年12月期第1四半期	13 85	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第1四半期	102,487	86,969	84.8
29年12月期	104,741	87,119	83.2

(参考) 自己資本 30年12月期第1四半期 86,958百万円 29年12月期 87,109百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	24 00	—	24 00	48 00
30年12月期	—	—	—	—	—
30年12月期(予想)	—	24 00	—	24 00	48 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,700	△5.4	3,500	△44.3	3,600	△43.8	2,600	△44.9	92 70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※上記のほか、決算及び業績予想に関する参考情報を、別途「2018年12月期第1四半期決算 参考資料」に記載しております。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年12月期 1 Q	28,800,000株	29年12月期	28,800,000株
② 期末自己株式数	30年12月期 1 Q	751,728株	29年12月期	751,603株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年12月期 1 Q	28,048,378株	29年12月期 1 Q	28,048,866株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。

業績予想については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）業績予想などの将来予測情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績	2
(2) 財政状態	3
(3) 研究開発活動	3
(4) 業績予想などの将来予測情報	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績

当第1四半期累計期間の経営成績につきましては、以下のとおりです。

	平成29年12月期 第1四半期累計期間	平成30年12月期 第1四半期累計期間	増減額	増減率
売上高(百万円)	13,608	13,930	322	2.4%
営業利益(百万円)	533	769	235	44.2%
経常利益(百万円)	555	790	234	42.2%
四半期純利益(百万円)	388	569	180	46.4%

売上高は、主力製品の価値最大化及び更なる市場浸透・拡大に取り組んだ結果、販売数量が伸長し13,930百万円と前年同期に比べ322百万円(2.4%)増加しました。

各重点領域における主要な製品・商品の販売状況につきましては、以下のとおりです。

- ・腎・透析領域におきましては、「レミッチ(透析患者における経口そう痒症改善剤)」は販売数量が伸長したことにより3,005百万円と前年同期に比べ252百万円(9.2%)、「リオナ錠(高リン血症治療剤)」は市場浸透・拡大に注力したことにより1,359百万円と前年同期に比べ139百万円(11.5%)それぞれ増加しました。
- ・皮膚疾患領域におきましては、「アンテベート(外用副腎皮質ホルモン剤)」が1,296百万円と前年同期に比べ129百万円(9.1%)減少しました。
- ・アレルギー領域におきましては、アレルギー免疫療法の普及に注力したことにより「シダトレン スギ花粉舌下液(アレルギー免疫療法薬)」は394百万円と前年同期に比べ122百万円(45.1%)増加しました。
- ・HIV感染症領域におきましては、「ツルバダ配合錠(抗HIV薬)」が359百万円と前年同期に比べ1,437百万円(80.0%)減少しましたが、平成29年1月に販売を開始した後継品の「デシコビ配合錠(抗HIV薬)」は2,556百万円と前年同期に比べ1,356百万円(113.1%)増加しました。また、「ゲンボイヤ配合錠(抗HIV薬)」は1,503百万円と前年同期に比べ217百万円(16.9%)増加しました。

費用面におきましては、売上原価は販売数量が伸長したこと等により6,954百万円と前年同期に比べ152百万円(2.2%)増加し、販売費及び一般管理費は販売促進費が増加しましたが、研究開発費が減少したこと等により6,206百万円と前年同期に比べ65百万円(1.0%)減少しました。

以上の結果、営業利益は769百万円と前年同期に比べ235百万円(44.2%)、経常利益は790百万円と前年同期に比べ234百万円(42.2%)、四半期純利益は569百万円と前年同期に比べ180百万円(46.4%)それぞれ増加しました。

(2) 財政状態

当第1四半期会計期間末の総資産は、102,487百万円と前事業年度末に比べ2,253百万円(2.2%)減少しました。これは、有価証券が8,490百万円増加しましたが、現金及び預金が4,283百万円、キャッシュ・マネージメント・システム預託金が3,660百万円、受取手形及び売掛金が2,820百万円減少したこと等によるものです。

負債につきましては、15,518百万円と前事業年度末に比べ2,104百万円(11.9%)減少しました。これは、未払法人税等が1,093百万円、流動負債のその他に含まれる未払金が462百万円、買掛金が459百万円減少したこと等によるものです。

純資産につきましては、86,969百万円と前事業年度末に比べ149百万円(0.2%)減少しました。これは、主に利益剰余金が104百万円減少したことによるものです。

(3) 研究開発活動

当第1四半期累計期間の研究開発費の総額は1,016百万円です。

導入活動・研究(共同)開発活動の主な成果につきましては、以下のとおりです。

- ・当社が日本国内において販売中の「ミティキュア ダニ舌下錠(アレルゲン免疫療法薬)」(開発番号:T0-203)につきまして、平成30年2月に小児適応に係る用法・用量の追加承認を取得しました。
- ・平成29年9月に日本国内における製造販売承認を取得した「シダキュア スギ花粉舌下錠(アレルゲン免疫療法薬)」(開発番号:T0-206)につきまして、平成30年4月に薬価基準に収載されており、販売開始は6月下旬を予定しております。
- ・Menlo Therapeutics社と日本国内における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結し、当社と日本たばこ産業株式会社で共同開発を進めてきたニューロキニン1(NK-1)受容体アンタゴニスト(国際一般名:serlopitant)(開発番号:JTS-661)につきまして、現在実施中の国内第Ⅱ相臨床試験の中止を決定いたしました。なお、本剤の今後の国内開発については検討中です。

現時点における主な研究開発の状況につきましては、「2018年12月期第1四半期決算 参考資料」に記載しております。

(4) 業績予想などの将来予測情報

通期の業績予想につきましては、前回発表(平成30年2月6日「平成29年12月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」)の予想数値を変更しておりません。なお、平成30年4月実施の薬価改定の影響につきましては予想数値に織り込み済みです。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成29年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,458	2,174
キャッシュ・マネージメント・システム預託金	9,836	6,175
受取手形及び売掛金	29,123	26,302
有価証券	24,957	33,448
商品及び製品	6,036	7,214
仕掛品	609	708
原材料及び貯蔵品	3,480	3,358
その他	3,478	2,543
流動資産合計	83,980	81,924
固定資産		
有形固定資産	5,540	5,458
無形固定資産	817	814
投資その他の資産	14,403	14,290
固定資産合計	20,761	20,563
資産合計	104,741	102,487
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	8,242	7,783
未払法人税等	1,396	303
賞与引当金	684	1,337
役員賞与引当金	52	14
返品調整引当金	5	5
その他	5,486	4,271
流動負債合計	15,868	13,715
固定負債		
退職給付引当金	895	921
その他	858	880
固定負債合計	1,753	1,802
負債合計	17,622	15,518
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,190	5,190
資本剰余金	6,416	6,416
利益剰余金	76,238	76,134
自己株式	△1,480	△1,480
株主資本合計	86,364	86,259
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	745	698
評価・換算差額等合計	745	698
新株予約権	9	11
純資産合計	87,119	86,969
負債純資産合計	104,741	102,487

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日)
売上高	13,608	13,930
売上原価	6,802	6,954
売上総利益	6,806	6,976
販売費及び一般管理費		
販売促進費	1,051	1,145
給料及び手当	1,296	1,298
賞与引当金繰入額	550	558
研究開発費	1,152	1,016
その他	2,220	2,188
販売費及び一般管理費合計	6,272	6,206
営業利益	533	769
営業外収益		
受取利息	7	9
受取配当金	0	0
為替差益	1	0
その他	13	9
営業外収益合計	22	20
営業外費用		
支払利息	0	0
その他	1	0
営業外費用合計	1	0
経常利益	555	790
特別損失		
固定資産除却損	16	0
特別損失合計	16	0
税引前四半期純利益	539	789
法人税等	150	220
四半期純利益	388	569

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。